



山形県立上山明新館高等学校

総合的な探究の時間 2 2 班

山形県上市市仙石650番地



「山形県のさくらんぼ」

—今年度の凍霜害から感じること—

Action

上山明新館高校は普通科、食料生産科、情報経営科の3学科を併設している学校で、食料生産科では果樹をはじめ、花や野菜、米、加工品と、たくさんの農産物を生産・販売しています。

山形県はさくらんぼの生産量日本一を誇りますが、今年度は満開期に霜が発生し、芽や花の凍霜害により生産量が県内全体で例年比7割減となりました。他の果樹も同様の被害が発生し、県内の被害総額は13億円にもものぼったそうです。学校現場でも私たちが一生懸命管理をした果樹に実がなっていないという残念な結果となってしまいました。5月の管理実習中に霜注意報が発令され、学校のすぐそばを農協の街宣車が「霜にご注意ください」と放送を流しながら通過しました。予報通りその晩はとても強い霜が降り、私たちが管理作業を行った花は霜でダメになってしまいました。近年霜害という言葉をよく聞くようになりましたが、なぜこのような被害が発生しているのかその原因を調べました。